

令和2年4月24日

日本理化学協会コロナ対策(その2)

-「2020誌上研究発表大会」-

令和2年度全国理科教育大会 第91回日本理化学協会総会」の実施等について

日本理化学協会

会長 関 俊秀

事務局長 塚越 博

(1)今年度の大会について

本会は90年以上続く会であり、たゆまぬ研鑽を続け資質・能力の開発・向上に努める理科教員を支援する上からも日々の研究成果を発表する場を設けることは本会の重要な使命の一つでもあります。そこで、今年度については、熊本大会を延期し、「2020誌上研究発表大会」として実施します。ただ、このような状況下ですので事務局が中心となって会長と連絡を取り、関係する大会役員と連絡を取りつつ決めざるを得ない面が多々出てくると思います。ご理解のほどよろしくお願いします。

(2)今年度の計画

- ① 今年度の大会は「2020誌上研究発表大会」として実施する。会誌を発行する。
- ② 後援依頼及び協賛賛助依頼は実施する。ただし、大会形態が変わることを明示したうえで、後援及び協賛賛助を依頼する。
- ③ 後援団体、協賛賛助団体の会誌での広告掲載等は通常大会の会誌1号と同様とする。
- ④ 大会役員は副会長、近県代表理事、本部役員(各部部长・委員長等)とする。
- ⑤ 本大会の会誌は、従来の会誌1号、2号、研究発表論文(資料)集をまとめて、「2020大会誌」として作成し、発行する。
- ⑥ 研究部による大学入試センター試験についての意見及び調査部による各支部へのアンケート調査の結果とその整理については、研究紀要52号に掲載する。
- ⑦ 大学入試問題検討委員会の報告文を作成する。
- ⑧ 研究発表は誌上発表とする。なお、発表の要項は熊本大会案内を準用するが期限等改めて事務局より発信する。
- ⑨ 特別功労賞・教育功労賞は誌上表彰とする。従って各支部から推薦をお願いします。なお、支部によって来年まとめでの表彰を希望する場合はそのようにしていただくことも可能です。
- ⑩ 協会賞については、研究部と近県代表理事からなる選考委員会によってメールを使って事務局で集約して選考し、選考した先生の中から推薦文をお願いします。
- ⑪ 各表彰者の写真等については表彰者から証明書サイズの写真を送って頂いたものを編集して掲載する。
- ⑫ 今年度の事業計画は、庶務部が中心となり事務局と相談して作成する。

- ⑬ 経理部は事務局と相談しつつ今年度の予算を作成する。
- ⑭ 誌上大会誌の作成は広報編集部が事務局と連絡を取りつつ行う。また、例年に倣い、研究紀要の作成や、一堂に会して行う全国大会ができないので各支部の連絡号的な会報の作成を行う。
- ⑮ 事務局は支部名簿作成や、本部名簿の作成を行い、本部、各支部間の連携が取れるようにしておく。また、会誌作成に関して、推薦者・表彰者の取りまとめ、本部分の原稿の取りまとめ、参加者募集の誌上大会要項の作成と支部へのメールの発信等を行う。また、教育情報委員会を通して HP への掲載や誌上大会誌の発注等を行う。
- ⑯ より多くの会員が研究発表の投稿ができるように、各支部で支部の会員に働きかける。
- ⑰ 誌上研究発表大会へより多くの会員に参加して頂けるように、誌上発表者以外にも、資料代として 3000 円を支払った方を 2020 大会の参加者として扱い、2020 大会誌を送付し、令和 2 年度大会参加者として記録する。
- ⑱ 大会宣言については 2020 大会誌に載せる。

### (3) 今後の大会について

日本理化学協会規約の内規 4 ブロック等に関する申し合わせ事項 総会及び全国理科教育大会開催権の予定 を改定し 令和2年以降の開催県等を1年ずつ延期する。

令和3年度 熊本大会、令和4年度 北海道大会、令和5年度和歌山大会となる。

### (4) その他

- ① 4 月の部長会、5 月の全国理事会は、一堂に会して会議をすることは中止とする。  
検討はメール等により行い、必要な部分は連絡を取り合い、確認事項を文書化して各支部に配信する。
- ② 研究協議の扱いについては、企画運営部等の意見を聞いて今後の方向性を決定するが、今回はなしとするのも一つの方法であると考えている。

以上